

「伝える」表現能力＝「相手に何を伝えたいのか」という観点が重要である。同時に、「相手がどのように受け取ったのか」という聞き手の理解の度合いを確認する活動も不可欠である。そうでなければ、表現は一方通行になり、相手の理解の程度を把握することなく、議論がすれ違いになる場面が出てくる。そこで、こちらの発信を相手がどのように受信したのか、ディスカッションを通して認識させ、良質なコミュニケーションを図る中で、「個性」「多様性」は「社会性」に昇華され、公民的資質の育成が可能となるであろう。

〈学習指導計画〉

段 階	時間	学 習 活 動	評価の観点・支援の手立て
ガイダンス	2時間	<ul style="list-style-type: none"> ●単元の学習活動計画についてガイダンスをうける。 ●グループを編成する。 ●共通研究テーマを設定する。 ●学習活動の内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎生徒自身にグループ分けさせる。 ◎政治・経済・社会的な時事問題を設定させる。 ◎リンクマップを活用し、現在身に付けている表現手段を確認させる。
調査・研究	4時間	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館を利用して、グループまたは個人で、共通テーマについて調査・研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎個に応じて情報収集・選択および表現する活動を支援する。
ファーストプレゼンテーション	1時間	<ul style="list-style-type: none"> ●進捗状況を発表する。調査研究のまとめ方とプレゼンテーションの方法を簡潔に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎調査研究のまとめ方とプレゼンテーションの方法を発表させる。他のグループの発表を参考にし、各自の内容を振り返り、再点検させる。
発表資料作成	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ●発表用資料を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎資料作成の方法について必要に応じてアドバイスする。 ◎個性と多様性を発揮させる。
発表準備	1時間	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ毎に作成資料・発表方法の確認、リハーサルを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎使用する機器について点検する。
セカンダリプレゼンテーション	2時間	<ul style="list-style-type: none"> ●各グループ、個人で研究内容を発表する。 ●フリーカードで発表を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「指名なし」発表で生徒の主体性を引き出す。 ◎聞き手の反応に注意させる。
ディスカッション	1時間	<ul style="list-style-type: none"> ●討論によって思考・判断の共通性・関連性・多元性を一般化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎担当教師が司会進行をつとめ、スムーズにすすめる。
反省・講評	1時間	<ul style="list-style-type: none"> ●リンクマップの作成、自由記述によって反省する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎講評を通して、生徒自身の変容に気付かせる。

Ⅲ 研究計画

1 研究方法・内容

- (1) 学習活動のガイダンスと課題の設定
- (2) 時事問題における課題解決のための資料・情報収集とその支援
- (3) 発表資料の作成及びプレゼンテーションの方法と工夫の支援
- (4) プレゼンテーションの実践（指名なし発表）
- (5) ディスカッション形式の討論
- (6) 評価・反省と課題